

藤本化学製品 環境関連データ

作成日： 2025年4月30日

年度			2020	2021	2022	2023
環境会計	省エネ関連投資(百万円)		11.89	29.07	57.96	67.14
地球温暖化防止	エネルギー使用量 (原油換算kL)	工場(泉北、金楽)	2521	2655	2853	3178
		研究所	130	136	134	139
		本社	21	21	21	21
		全社	2672	2812	3008	3337
		前年度比	0.912	1.052	1.070	1.115
	エネルギー原単位	工場(泉北、金楽)	0.6294	0.6077	0.6016	0.6111
		研究所	0.1476	0.1544	0.1518	0.1573
		本社	0.02456	0.02456	0.02411	0.0243
		前年度比	0.968	0.969	0.990	1.017
	エネルギー起源 CO2排出量 (t-CO2)	工場(泉北、金楽)	3741	4114	3823	4828
		研究所	176	195	161	196
		本社	38	27	43	29
		全社	3956	4336	4027	5054
PRTR法対応	上段：排出量(t) 下段：移動量(t)	泉北工場	6.17	22.8	20.0	23.6
		金楽工場	1.08	1.67	3.17	5.6
			266.6	621.6	581.1	686.3
			168.0	214.0	211.0	496.1
		全社	7.25	24.47	23.2	29.2
水資源	水使用量 (kt)	泉北工場 市水	17.6	18.3	20.3	20.7
		工水	64.9	63.9	68.7	70.5
		金楽工場 市水	7.4	7.0	6.6	7.3
		工水	21.4	31.5	19.0	26.9

大阪府生活環境の保全等に関する条例第81条の25第2項の規定に基づく化学物質管理目標決定及

事業所	藤本化学製品 泉北工場	
化学物質管理目標	管理化学物質種類	VOC (揮発性有機化合物)
	指標とする項目	上記管理化学物質の単位使用量当たりの大気への排出量の削減
	指標とする目標	VOC対象物質の中からペーパー排出抑制の効果が期待出来る物質の調査を行い、その中の1点を選定し、該当物質の貯留タンクにブリーザーバルブを設置し、大気放出を削減する。 アセトン貯蔵タンクからの大気放出を削減する。
		2018年度 大気放出量 2.4%(実績)に対し、5年後(目標) 1.2% 2023年度 改善率50%(大気放出量 1.2%削減目標)
	達成実績	2019年度 該当物質選定 (計画初年度) 2020年度 33.3% 2021年度 54.2% 2022年度 83.3% 2023年度 95.8%